

効果測定事業・参加事業所の募集

- 生産年齢人口が減少し、労働力の確保に向けた制約が強まる中、介護サービスの質を確保するため、介護現場において、ICT、介護テクノロジー等の活用や業務の役割分担（いわゆる介護助手の活用等）などによる生産性向上の取組を推進することは重要です。
- 本事業は、介護施設等に対し介護テクノロジー等による生産性向上の取組について支援を行った上で、当該取組による効果実証を実施するとともに、実証から得られたデータの分析等を行い、今後の介護報酬改定の検討に資するエビデンスの収集等を行うことを目的としております。
- 介護テクノロジー等を活用した生産性向上の取組について、実証事業にご参加いただける事業所を募集します。

募集期間 **令和8年4月15日(水)～令和8年4月24日(金)まで**（応募状況により変更の可能性がございます）

◆ 令和8年度実証テーマ（全体）

テーマ名 (略称)	想定されるサービス種別	目的	事業所数 (予定)
①介護テクノロジー等を活用した生産性向上の取組による「働きやすい職場環境づくり」に関する調査及び実証			
福祉用具	訪問系サービス	訪問系サービス事業所(福祉用具貸与事業所、居宅介護支援事業所の協力を要する)を対象に、福祉用具貸与による貸与品を活用した訪問介護員の生産性向上の取組の効果把握を行う。	10事業所
重点分野	施設系サービス、通所系サービス、訪問系サービス	「介護テクノロジー利用の重点分野」における移乗支援機器・入浴支援機器・機能訓練支援機器等のテクノロジーを活用した生産性向上の取組の効果把握を行う。	52事業所
生産性向上	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護	「生産性向上推進体制加算(Ⅰ)または(Ⅱ)」を算定している、もしくは今後算定しようとする施設系サービス、「生産性向上に先進的に取り組む特定施設における人員配置基準の特例的な柔軟化」を適用した特定施設において、特に介護サービスの質の維持・向上、職員の負担軽減、効率的な人員配置の実現等の観点の評価検討に資するデータを整備する。	8事業所
AI活用	訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション	AI技術等のテクノロジーを活用した場合の訪問系および通所系サービスにおける課題分析、介護職員等の業務の明確化・役割分担の見直し(タスク・シェア/シフト)の効果的な実施に資するデータを整備する。	10事業所
②介護事業者等からの提案手法による生産性向上の取組に関する調査及び実証 ※②は5月以降公募開始となります。			
提案型	全サービス	介護事業者等から調査及び実証の実施を希望する生産性向上に資する新たな取組等に関する提案を受け付け、当該事業者等が選定する介護サービス事業所で実証を行い、目標に対する取組の効果を検証の上、その取組内容についての評価・改善を行う。	10事業所

福祉用具

(周知対象:訪問介護事業所、福祉用具貸与事業所、居宅介護支援事業所)
福祉用具貸与による貸与品を活用した訪問介護員の生産性向上の取組の効果把握

実証イメージ

訪問系サービス事業所(福祉用具貸与事業所、居宅介護支援事業所の協力を要する)を対象に、福祉用具貸与による貸与品を活用した訪問介護員の生産性向上の取組の効果を検証します。

特に、**特殊寝台・車いす・移乗支援リフトの既存機能の活用による検証**にご協力いただける事業所様を募集します。

STEP1

事業所の選定

- 現在**以下の組み合わせの福祉用具貸与がある利用者宅を対象**に、当該用具の活用による訪問介護員の負担軽減及び利用者の状態改善を目指す事業所を募集

- ✓ 特殊寝台+車いす
- ✓ 特殊寝台+車いす+移乗支援リフト



STEP2

福祉用具活用の取組

- **移乗支援リフト・特殊寝台・車いす**の福祉用具の機能活用のための訪問介護員研修等を実施(講師は事務局にて手配)



STEP3

効果検証

- 研修通りの機器を活用した手順に変更し、職員の身体的負担(主に腰痛リスク)の軽減に繋がっているか、また**利用者の安全性確保及び自立支援につながっているか**を検証する



実証においてご協力いただく内容

1. 事業所における実証研究責任者の選定
2. 実証研究に関わる職員に対する説明・講習会等の実施
3. 生産性向上の取組の実施(約4か月間)
4. 調査へのご協力(腰痛リスク等の計測※、アンケート調査、ヒアリング調査等)

※ 実証期間中の計測ツール等利用料は事務局にて負担します

◆ お問い合わせ先

本事業に関するお問い合わせは、以下の宛先へお願いいたします。

「介護テクノロジー等による生産性向上の取組に関する調査及び効果測定事業」事務局 株式会社三菱総合研究所 医療・介護DX本部
【連絡先】r8r-fukushi@ml.mri.co.jp

実証スケジュール(予定)

令和8年5月	事前調査(取組前の実態把握の調査)
令和8年6月	生産性向上の取組の開始
令和8年7月	事後調査①(取組後の調査1回目)
令和8年9月	事後調査②(取組後の調査2回目)
令和8年10月	施設・事業所向け・職員向けヒアリング

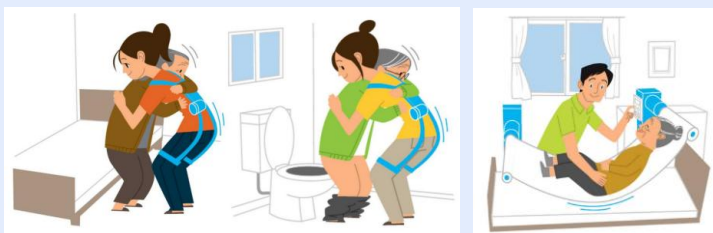
重点分野

施設系サービス及び通所系サービス、訪問系サービス事業所を対象に、移乗支援機器・入浴支援機器・機能訓練支援機器等のテクノロジーを活用した生産性向上の取組の効果把握

実証イメージ

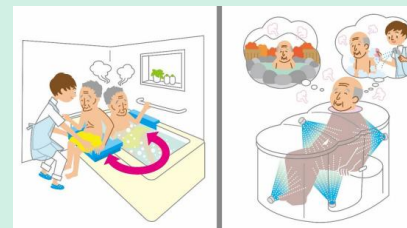
施設系サービス及び通所系サービス、訪問系サービス事業所を対象に、「介護テクノロジー利用の重点分野」における**移乗支援機器・入浴支援機器・機能訓練支援機器等のテクノロジーを活用した生産性向上の取組**の効果把握を行います。以下の機器やテクノロジーの導入・活用、生産性向上の取組(オペレーション変更等)を通じた実証を行います。

移乗支援機器(装着型・非装着型)



移乗支援機器(装着型・非装着型)を用いることにより、職員の負担軽減やケアの質の向上に関する実証を行います。

入浴支援機器



入浴支援機器の活用により、入浴にかかるケアの質の向上、職員の負担軽減に関する実証を行います。

機能訓練支援機器



機能訓練支援機器の活用により、計画書作成の負担軽減等に関する実証を行います。

出所:「介護テクノロジー利用の重点分野」の定義 厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001268136.pdf>

※上記のイラストは実証機器のイメージです。実証内容に応じ、対象となる機器・テクノロジーは事務局より改めて連絡をさせていただきます。

実証においてご協力いただく内容

1. 事業所における実証研究責任者の選定
2. 実証研究に関わる職員に対する説明・講習会等の実施
3. 生産性向上の取組の実施(約4か月間)※
4. 調査へのご協力(タイムスタディ調査、アンケート調査、ヒアリング調査等)

※ 実証期間中のツール利用料は事務局にて負担します

※ 機器については、事務局で予定している機器のレンタル・実証実施を予定しております。必ずしも希望の機器にならない可能性のある旨、ご了承ください。

実証スケジュール(予定)

令和8年5月	事前調査(取組前の実態把握の調査)
令和8年6月	生産性向上の取組の開始
令和8年7月	事後調査①(取組後の調査1回目)
令和8年9月	事後調査②(取組後の調査2回目)
令和8年10月	施設・事業所向け・職員向けヒアリング

◆ お問い合わせ先

本事業に関するお問い合わせは、以下の宛先へお願いいたします。

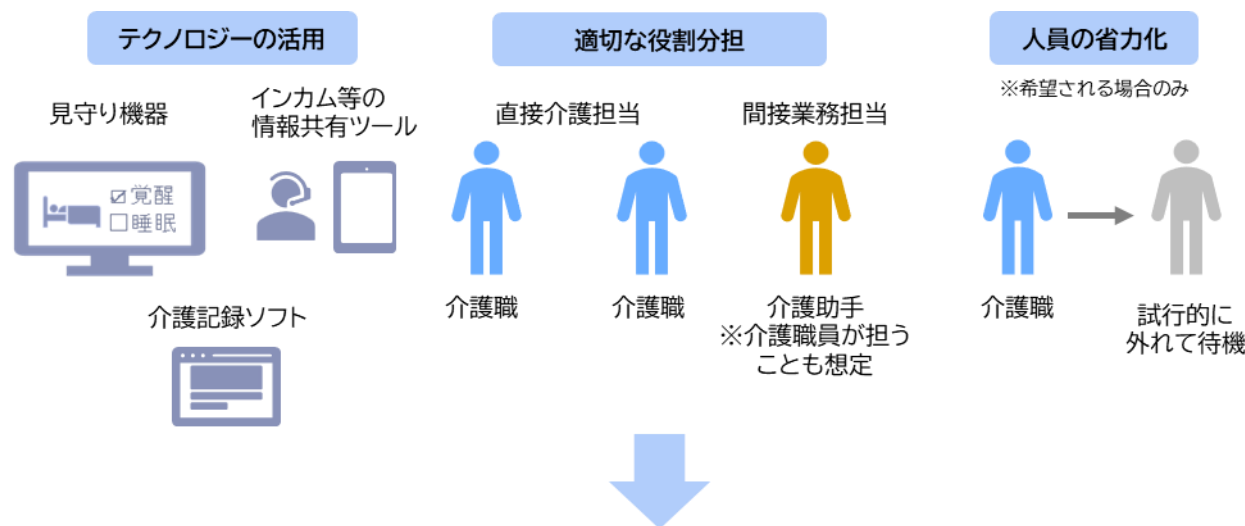
「介護テクノロジー等による生産性向上の取組に関する調査及び効果測定事業」事務局 株式会社三菱総合研究所 医療・介護DX本部
【連絡先】 r8r-juten@ml.mri.co.jp

生産性向上

「生産性向上推進体制加算」や「生産性向上に先進的に取り組む特定施設における
人員配置基準の特例的な柔軟化」に関する実証

実証イメージ

施設系サービス(介護老人福祉施設・介護老人保健施設)及び特定施設において、テクノロジーの活用や職員間の役割分担の取組を通じた生産性向上の取組の効果把握を行います。



生産性向上推進体制加算(Ⅰ)や特例的な柔軟化の要件充足を目指す

実証においてご協力いただく内容

1. 事業所における実証研究責任者の選定
2. 実証研究に関わる職員に対する説明・講習会等の実施
3. 生産性向上の取組の実施(約4 か月間)※
4. 調査へのご協力(タイムスタディ調査、アンケート調査、ヒアリング調査等)

※ 実証期間中のツール利用料は事務局にて負担します

※ 機器については、事務局で予定している機器のレンタル・実証実施を予定しております。
必ずしも希望の機器にならない可能性のある旨、ご了承ください。

◆ お問い合わせ先

本事業に関するお問い合わせは、以下の宛先へお願いいたします。

実証スケジュール(予定)

令和8年5月	事前調査(取組前の実態把握の調査)
令和8年6月	生産性向上の取組の開始
令和8年7月	事後調査①(取組後の調査1回目)
令和8年9月	事後調査②(取組後の調査2回目)
令和8年10月	施設向け・職員向けヒアリング

「介護テクノロジー等による生産性向上の取組に関する調査及び効果測定事業」事務局 株式会社三菱総合研究所 医療・介護DX本部
【連絡先】 r8r-seisansei@ml.mri.co.jp

AI活用

「AI技術等のテクノロジーを活用した課題の分析、介護職員等の業務の明確化・役割分担の効果的な見直し」に関する実証

実証イメージ

訪問系・通所系サービスを対象にAIによるスケジュール作成ツールを導入し、訪問/送迎スケジュール作成業務における生産性向上の効果を検証します。

AIツール導入前の課題

手書きやExcelファイルなどによるスケジュール作成・修正



スケジュール作成業務に
多くの時間を要する

特定の職員への
業務負荷が高い

AIツール導入後の効果

AIツールによるスケジュール作成・修正



業務時間の
短縮・効率化

スケジュール作成の
負担軽減

利用者と向き合う
時間の創出

実証においてご協力いただく内容

1. 事業所における実証研究責任者の選定
2. 実証研究に関わる職員に対する説明・講習会等の実施
3. 生産性向上の取組の実施(約4か月間)※
4. 調査へのご協力(タイムスタディ調査、アンケート調査、ヒアリング調査等)

※ 実証期間中のツール利用料は事務局にて負担します

実証スケジュール(予定)

令和8年5月	事前調査(取組前の実態把握の調査)
令和8年6月	生産性向上の取組の開始
令和8年7月	事後調査①(取組後の調査1回目)
令和8年9月	事後調査②(取組後の調査2回目)
令和8年10月	事業所向け・職員向けヒアリング

◆ お問い合わせ先

本事業に関するお問い合わせは、以下の宛先へお願いいたします。

「介護テクノロジー等による生産性向上の取組に関する調査及び効果測定事業」事務局 株式会社三菱総合研究所 医療・介護DX本部
【連絡先】 r8r-ai@ml.mri.co.jp